

第1学年 生活科学学習指導案

日 時 令和6年10月23日(水) 5校時

13:30～14:15

対 象 第1学年1組 30名

指導者 教諭 湯澤 律子

1 単元名 「じぶんでチャレンジ大きくせん」(13時間扱い)

2 単元目標

家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどについて考え、家庭での生活は互いに支えあっていることがわかり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりすることができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支えあっていることがわかっていく。	家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどについて考えている。	家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

4 単元について

(1) 指導内容

本単元は、学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

内容(2) 家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができ、家庭での生活は互いに支えあっていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。

児童は、学校や家庭を中心とした生活から友達や地域の人々、身の回りの環境などとの関わりを通して、自分たちの地域へと生活の場を広げる。

本単元では、児童にとって生活の拠点であり、社会の最小単位である家庭のよさを感じたり、自分が家庭でできることがあることに気付いたりすることで、今後の学年で学ぶ「おおたの未来づくり科」に関わる素地をつくっていききたい。具体的には、家族と一緒にやっていることや、してもらっていることを振り返り、家族のことや自分でできることについて考え、家族のために役立つ喜びと自信を実感させていく。その際に、家で挑戦したことを家族がどのように受け止めたかを手紙にしてもらうことで、独りよがりな活動にならないよう配慮する。

また、自分のことを自分で行い、健康に気を付けて規則正しい生活が送れるようにすることも目指している。この活動について友達と交流することで、さらに家族のよさや、自分でできるようになったことについても気付くことができるようにしたい。児童が自分の家庭を見つめ、家族の一員としてより良い生活をしようとする意欲や態度につなげていきたい。

(2) 創造的な資質・能力を重点的に育成する単元として設定した理由

今後の学年で学ぶ「おおたの未来づくり科」の学習では、町会や商店街の人々と相談しながら、池上の町を盛り上げる企画を考える活動を行う。本単元では、自分が家庭でできることに気づき、お手伝いや自分の生活を振り返る活動を通して、「おおたの未来づくり科」に繋がる試行錯誤をして、より良い活動をしようとする姿勢から、相手意識をもち、プレゼンをするための素地をつくっていきたい。

5 児童の実態

入学してから半年が経ち、児童は学校生活に慣れ、給食や掃除当番、学級での係活動等をすすんで行っている。できることが増え、褒められると自信をもち活動しているように見える。このような活動を通し、自分中心に物事を考えていた児童も周りの友達のことを考えて活動するようになってきた。すすんで行動ができる児童が半数程度いる。一方で何の目的で活動しているのかを問うと、答えられる児童は少ない。誰かの役に立ちたい、お手伝いをしたいと意欲的に活動したことを言語化し、目的を意識させる必要がある。

6 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

児童が家庭で行った挑戦を紹介する活動を通して、問題の発見や解決に向かって、自分や他者のよさを活かしながら主体的に取り組もうとする態度を身に付ける。

7 創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て

(1) 外部連携の充実（家庭）

- ①目的に応じて、その都度保護者に手紙を配布し、学習のめあてを理解して活動に協力していただけるようにする。
- ②社会の最小単位である家庭の保護者と連携し、その人たちの思いや願いを聞くことで、自分たちの学習と家庭とのつながりを実感できるようにする。
- ③家でチャレンジした後、保護者にインタビュー形式で感想を聞くことで、児童が保護者の思いを受け止め、さらに自分の役割を積極的に果たそうとする気持ちを育む。
- ④チャレンジの後、児童への手紙を保護者に書いてもらうことで、自己有用感を高められるようにする。

(2) 学習過程の工夫

- ①家庭での取り組みをタブレットで撮影し、発表の際に活用することで、児童同士の活動の共有が図れるようにする。
- ②学習過程をア「思いや願いをもつ」、イ「活動や体験をする」、ウ「感じる・考える」、エ「表現する・実行する」とする。そうすることで、「おおたの未来づくり」では「探求」と「創造」を繰り返すように「体験」と「表現」を繰り返し、児童の学びの質を高めていく。
- ③児童同士が話し合う機会を意識的に設け、対話の中から課題や解決策を見出していけるようにする。

(3) ワークシートの工夫

- ①児童が、自分と保護者の一日の過ごし方を思い出して書き出し、行動を比較できるようにする。
- ②①を受け、保護者に一日の過ごし方のインタビューをすることで、児童が自分では気が付か

なかったような家庭での仕事があると知ることができるようにする。

- ③思考ツール Y チャートを使用し、児童が各自の一日を振り返られるようにする。
- ④夏休みに新たな手伝いにチャレンジし、一覧表に書き込むことで成果を振り返ることができるようにする。
- ⑤夏休みにおこなった手伝いの中でとくに印象に残っているものを選び、コツや保護者から言われた一言を書くことで、自分のやった手伝いに自信をもたせ、友達に伝えたい気持ちを高めることができるようにする。
- ⑥友達にインタビューをし、手伝いのコツを聞くことで新しい手伝いに興味をもち、挑戦してみたいという気持ちを高めることができるようにする。
- ⑥-2 友達へのインタビューから興味をもった手伝いに挑戦し、やったことやコツを書き、保護者からのアドバイスや一言を記入していただくことで、児童ができたという達成感や、やってよかったという自己有用感をもつことができるようにする。
- ⑦-1 友達にインタビューをし、おすすりめされたお手伝いをやってみた感想や更に自分で見つけたコツを伝え合えるようにする。
- ⑦-2 友達からのインタビューにんえ、友達からシールで感想をもらうことで、相手意識をもって伝えられたことを振り返ることができるようにする。友達の良さや自分の成長を表情マークで振り返ることができるようにする。

使用したワークシートは、最終ページに添付してあります。参考にしてください。

8 指導計画

次	小 単 元	時	○主な学習活動 ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て	◆評価規準 【観点】(方法)
1次 (1学期)	自分で チャレンジ (自分①)	1 2 3	○自分と家族の1日を振り返る。 ○家族がしている仕事について調べる。(家庭での取組) ○Yチャートを使用し、①自分でしていること、②手伝ってもらっていること、③家の人がしていることに自分の1日を分けて、まとめる。 (1) 外部連携の充実(家庭) (3) ワークシートの工夫	◆【思①】(発言分析、ワークシート分析) 【知①】(発言分析、ワークシート分析)
2次 (1学期・夏休み)	自分で チャレンジ (家族 (自分②))	4 5 6	○自分でできる仕事や自分でしてみようと思う仕事を見付けて、計画を立てる。 ○自分で決めた仕事を家で挑戦してみる。(家庭での取組み) ○挑戦したことをワークシートに書く。 (1) 外部連携の充実(家庭) (3) ワークシートの工夫	◆【思①】(発言分析、ワークシート分析) ◆【態①】(発言分析、ワークシート分析・行動観察) ◆【知①】(発言分析、ワークシート分析)
3次 (2学期)	自分で チャレンジ (自分③)	7 8 9 10	○友達にお勧めしたい仕事を選び、友達に紹介する準備をする。 ○お薦めの理由や仕事をしたときの気持ち、仕事のこつなどを発表する。(インタビュー形式) ○友達の発表を聞いて、自分もやってみたい仕事を選ぶ。 ○自分で決めた仕事や友達からお薦めされた仕事を、家で挑戦してみる。(家庭での取組) (1) 外部連携の充実(家庭) (3) ワークシートの工夫	◆【思①】(発言分析、ワークシート分析) 【態①】(発言分析、ワークシート分析、行動分析)
4次 (2学期)	自分で チャレンジ (自分④)	11 (本 時) 12 13	○自分で決めた仕事や友達から薦められてやって見た仕事の感想や家族の反応などを伝え合う。(インタビュー形式) ※『いかしたい』の欄への記入は、次時の導入で行う。 ○家族からの手紙を受け取る。 ○これからも続けたいことを考え、家族に手紙を書く。 (1) 外部連携の充実(家庭) (2) 学習過程の工夫 (3) ワークシートの工夫	◆【思①】(発言分析、ワークシート分析、行動観察) ◆【知①】(発言分析、ワークシート分析) ◆【態①】(発言分析、ワークシート分析、行動観察)

8 本時の指導（全13時間中の第11時）

（1）目標

家で挑戦したことを、自分なりに工夫して、友達に伝え、自分の成長や友達の良さに気付くことができる。

（2）展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】（方法） ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て
導入 5分	○前時までの学習を振り返る。 ○本時のめあてを設定する。	★指導計画を掲示し、本時の位置付けを確認する。
	じぶんでチャレンジしたことをしょうかいしよう。	
	○本時の学習活動の流れを確認する。	
展開 35分	○インタビューの仕方を確認する。 ○隣の席の友達と挑戦した内容とそのコツを紹介し合う。（色の丸シール）2分半程度で交代。 ○1、3、5列目のみ移動し、2人組を作り、席に着く。挑戦した内容とそのコツを紹介し合う。（色の丸シール）（10分程度） ○2、4、6列目のみ移動し、2人組を作り、席に着く。挑戦した内容とそのコツを紹介し合う。（色の丸シール）（10分程度） ○インタビューを振り返る はっけん（きづき） ・じぶんと同じ。 ・けがをしない。（あんぜん） ・知らないことがある。（しった） ○チャレンジした内容を前に出て紹介する。 ・お皿を回しながら、洗います。 ・重たい物と軽い物を分けて干すと、傾かない。	★インタビューの内容を活動中、いつでも振り返ることができるように黒板に掲示しておく。 ★発表の仕方の例を示す。 ★自分の良さや友達の良さを認める言葉を取り上げ、家庭生活における役割が増えた自分の成長や友達の良さに気付かせる。 ★聞いている人は、感想を伝えたり、質問をしたりするようにする。 ★良いと思った友達のお手伝いのコツを発表し、指名された児童が実演することで全体に共有する。 ◆これまで家で挑戦したことを、自分なりに工夫して、友達に伝えている。【思考・判断・表現】（話し合い活動の観察、ワークシート分析）
まとめ 5分	○自分が発表したり、友達の発表を聞いたりして、分かったことや良かったことを振り返る。 いかしたい（どうしていきたい） ・自分ができることが増えて嬉しいです。 ・これからも続けたいです。 ○次回の活動を知る。	◆自分の成長や友達のよさに気付いている。 【知識・技能】（発言分析、ワークシート分析）

（3）授業参観の観点

①インタビューの形式は、適切だったか。

②ワークシートは、自分がチャレンジしたことを友達に伝える手助けになったか。

令和 6 年7月3日(水)

保護者の皆様

大田区立池上小学校

校長 平林 里美

1 年担任一同

生活科の学習へのご協力のお願い

日頃より、本校の教育活動へのご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

さて、生活科では「じぶんでチャレンジ大さくせん(教科書上巻 P.84～)」単元の学習を始めます。この学習では、家庭生活は、互いに支え合うことで成り立っていることに気付くこと、自分も家族の一員として役割を果たしたいという思いをもつことを目標に取り組みます。そのため、主な活動場所は、家庭となります。ご協力をお願いすることが多くなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【具体的な活動内容】

7 月(学校で)

まず最初に、こどもたちは1日の生活を「自分のこと」と「家の人のこと」について振り返り、「自分でしていること」や「手伝ってもらってできていること」「家の人が行っていること」などを考えます。

7 月(家庭で)

次に、『家の人は毎日どんなことをしているか』を調べるために、お家の人の 1 日調べの宿題に取り組みます。子ども達から、朝・昼・夜にどんなことをお家の人がしているのかを知るための簡単なインタビューがありますので、答えてください。洗濯・掃除・買い物など、子どもたちがわかる範囲で構いませんので、家庭生活の中にはたくさんの仕事があることを伝えていただきたいです。

7 月と 8 月(家庭で)

最後に、こどもたちは『挑戦してみたいこと(自分でできるようになりたいこと)』を選び、家庭で挑戦する活動を行います。ここで選ぶテーマは個々によって異なります。『朝、自分ひとりで起きられるようになりたい』などの自分のことは自分でできるようになることも含めて、さまざまなことに挑戦していきますので、ご家庭では、励ましやアドバイス、称賛をお願いいたします。(教科書上巻 P.88～89 参照)。活動する期間は、夏休み中です。7 月と 8 月に組みませ、「おてつだいにっき」に書かせてください(夏休みの課題に含まれています。)

注意点

料理やアイロンがけなど危険を伴う活動に挑戦したいとお子さんが申し出た際は、一緒に活動を行っていただけますと幸いです。お子さん自身が「〇〇に挑戦したい」と懸命に考えてのことですので、忙しい中、恐れ入りますが、時間がかかっても温かく見守り、お付き合いいただけますと大変助かります。

この学習を契機に、子どもたちが自分の家庭や家族にさらに愛着をもち、役割を進んで果たし、健康で規則正しい生活が送れるようになることを願っています。

参考

裏面に教科書上巻 P.84～89 を掲載しています。ご参照ください。

令和 6 年 9 月 20 日 (金)

保護者の皆様

大田区立池上小学校

校長 平林 里美

1 年担任一同

生活科の学習へのご協力をお願い

日頃より、本校の教育活動へのご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

生活科では「じぶんでチャレンジ大さくせん(教科書上巻 P.84～)」単元の学習を続けています。2 学期に入り、友達からおすすめのチャレンジを聞き、更に自分でできることを増やしたいという思いが子ども達の中で高まっています。そこで、

【具体的な活動内容】

友達からおすすめされたチャレンジの中から、選んだチャレンジを 9 月 21 日(土)～9 月 29 日(日)の期間中に取り組ませてください。

また、取り組んだチャレンジのアドバイスもお願いします。最後に、お家の人からの一言は、ひらがなでご記入ください。

お子さんの活動の様子を児童用タブレットで、2 枚程度撮影してください。(学校で友達にチャレンジの内容を説明する時に印刷して、使います。)

ワークシートの①～④までは、子どもが自分の言葉で書きます。⑤のみ、一言をお家の人を書いてください。

【アドバイスの例】

たたむときは、かどをあわせるといい。

【お家の人からの一言の例】

せんたくたたみをしてくれてありがとう

注意点

料理やアイロンがけなど危険を伴う活動に挑戦したいとお子さんが申し出た際は、一緒に活動を行っていただけますと幸いです。お子さん自身が「〇〇に挑戦したい」と懸命に考えてのことですので、忙しい中、恐れ入りますが、時間がかかっても温かく見守り、お付き合いいただけますと大変助かります。

この学習を契機に、子どもたちが自分の家庭や家族にさらに愛着をもち、役割を進んで果たし、健康で規則正しい生活が送れるようになることを願っています。

参考

裏面に教科書上巻 P.84～89 を掲載しています。ご参照ください。

①



いちにちのせいかつを しりたい!

ねん

くみ

なまえ (

)

	あさ (おきてからがっこうへいくまで)	ひる (がっこうへいっているとき)	よる (いえにかえってから)
じぶん			
いえのひと			

③



いちにちのせいかつを ふりかえりたい!

ねん くみ なまえ (

)

じぶんで していること

てつだって もらって していること

じぶんで していないこと

② 表



いちにちのせいかつを しりたい

(いえよう)

ねん

くみ

なまえ (

)

	あさ (おきてからがっこうへいくまで)	ひる (がっこうへいっているとき)	よる (いえにかえってから)
じぶん			
いえのひと			

② 裏

いんたびゅうを したい!

- ① これから いんたびゅうを はじめます。
よろしく おねがいします。
- ② あさに やっていることは なんですか。
- ③ ひるに やっていることは なんですか。
- ④ よるに やっていることは なんですか。
- ⑤ これで いんたびゅうを おわります。
ありがとうございました。

なつやすみ じぶんでちやれんじ だいさくせん

ねん くみ なまえ

もっとしりたい！
 もっといかしたい！

☆じぶんで ちゃれんじ したことを かこう。

[illegible][illegible]

わが、たこ。おも、たこ

4. 2. 17 6 22 24

5

チャレンジ カード



がつ	にち	なまえ
ねん	くみ	

1. なつやすみ じぶんでちやれんじして わかった こと、しごとのコッ などおもったことを くわしく かこう。

2. おうちのひとにいわれたことをかこう

3. はっけんしたこと いかしたいこと
これからもつづけたいことなどをかこう。



⑥-1

じぶんでちゃれんじカード②



がつ	にち	なまえ
ねん	くみ	

いたたびゆうすること

- ①なんの おてつだいをしましたか。
- ②どうして そのおてつだいにしたのでですか。
- ③たいへんだったことは なんですか。
- ④うまくいっしたこと(ゴツ)は なんですか。

きいたひと	やったおてつだい	やりたいど(〇◎◎)

つぎに じぶんで ちゃれんじしたいおてつだい

--

⑥-2

チャレンジカード



がつ	にち	なまえ
ねん	くみ	

① おてつだいをしたりゆう

--

② たいへんだったこと

--

③ うまくいっしたこと(しごとののゴツ)

--

④ おうちのひとからもらったあどばいす

--

⑤ おうちのひとから

--

⑦ - 1



じぶんでちゃれんじ カード③

がつ	にち	なまえ
ねん	くみ	

いんたびゅうすること 

- ①なんの おてつだいをしましたか。
- ②どうして そのおてつだいにしたのですか。
- ③たいへんだったことは なんですか。
- ④うまくいったこと(コツ)は なんですか。

きいたひと	やったおてつだい	 (※◎◎)

⑦ - 2

--

チャレンジ カード



がつ	にち	なまえ
ねん	くみ	

① おてつだいをしたりゆう

--

② たいへんだったこと

--

③ うまくいったこと(しごとののゴツ)

--

④ おうちのひとからもらったあどばいす

--

⑤ みんなから

わかりやすかった	やってみたくなった	ゴツをはじめてした

はっけんしたこと いかしたいこと これからもつづ
きたいことなどをかこう。



☆じぶんでちゃれんじ ふりかえりたい！



じぶんでしたことは ともだちに つたえられましたか。			
ともだちの はっぴょうをきいて あたらしいはっけんはありました か。			
じぶんでしていることは ふえま したか。			

--

チャレンジ カード



がつ	にち	なまえ
ねん	くみ	

① おてつだいをしたりゆう

--

② たいへんだったこと

--

③ うまくいったこと(しごとののコツ)

--

④ おうちのひとからもらったあどばいす

--

⑤ みんなから

わ か り や す か っ た	や っ て み た く な っ た	コ ツ を は じ め て し っ た

はっけんしたこと いかしたいこと これからもつづけ
たいことなどをかこう。



☆じぶんでちゃれんじ ふりかえりたい！



じぶんでしたことは ともだちに つたえられましたか。			
ともだちの はっぴょうをきいて あたらしいはっけんはありました か。			
じぶんでしていることは ふえま したか。			